



中央小だより ザウルス通信



令和 6年 1月号
発行責任者 堀場 幸伸

中央小の
スローガン 「響き合い高め合って ぐんぐん伸びる ザウルスキッズ」

- 「考える」……しっかり「考える」本気ザウルス
- 「やりぬく」…とことん「やりぬく」根気ザウルス
- 「助け合う」…心から「助け合う」勇気ザウルス

<http://www.ueis.ed.jp/school/tyuo/>

新たな年を迎え、心よりお慶び申し上げます。しかしながら、元日には石川県を中心に最大震度7の地震が発生し、多くの尊い命が犠牲となりました。亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、そのご家族や被災された方々に、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。本校では子供たちは明るく元気に学校生活を送っていますが、安全安心を中心に据えた学校経営を進めていきたいと考えております。

命を守る 避難訓練

今年度最後の避難訓練を行いました。今回の避難訓練は、担任の先生がいない休み時間に火災が発生したという想定で実施しました。子供たちは、放送をよく聞きながら素早く安全に避難場所へ避難することができました。全体指導では「おかしもち」の約束のうち、特に「しゃべらない」に気を付けて避難行動をとることの大切さについて確認しました。万一、子供たちが災害に遭遇したとき、今日の訓練が「自分の命を守る」行動につながってくれることを願っています。



2年生 ふれあい給食会

今年度2回目の「ふれあい給食会」を行いました。今回は2年生が参加しました。地域の高齢者の皆様にお越しいただき、みんなでおいしい給食をいただきました。今回のメニューはカレーライスです。子供たちは地域の皆様と会話を楽しみながら、おいしそうにカレーライスをほおばっていました。また、参加された地域の皆様にも、おいしい給食と子供たちとの楽しいひとときを味わっていただくことができました。最後に、子供たちから地域の皆様へのすてきな歌と折り紙のプレゼントを贈り、楽しいふれあい給食会が終了しました。



6年生 社会「租税教室」

宇都宮法人会から3名の先生にお越しいただき、6年生が租税教室を行いました。学習の目標は、税金が生活の中で有効に活用されていることや暮らしに役立っていることを理解することです。子供たちは、学習を通して身の回りには税金を使って造られている施設がたくさんあることや、税金が自分たちの安全安心な暮らしを守るために役立っていることを実感を伴いながら理解することができました。



1年生 生活「むかしあそび」

1年生が生活科「むかしあそびをしよう」を行いました。14名の地域の先生にお越しいただき、昔の遊びを教えてくださいました。6つの遊びに分かれ、地域の方々と楽しく活動することができました。この学習を通して、子供たちは昔の遊びのよさや楽しさを体験することができました。また、地域の皆様の温かさになれることができました。ご協力いただいた地域の皆様、本当にありがとうございました。



おめでとうございます！ 表彰朝会

【栃木県関係】

よい歯の作文コンクール 特選

6年 豊田 芽生子

心の輪を広げる体験作文 最優秀賞

3年 森田 智仁

小学生読書感想文コンクール優秀賞

4年 吉村 菜那

【宇都宮市関係】

うつのみやジュニア芸術祭

学校書道展 硬筆の部 金賞

1年 郷田 彩文

ジュニア文芸 川柳の部 金賞

3年 橋本 イシムムウェ ゴウワ

学校美術展 平面の部 金賞

1年 小瀧 莉瑚



各種調査の結果から

「全国学力・学習状況調査」や「とちぎっ子学習状況調査」,「学校評価アンケート」などの分析を行った結果、本校児童は基礎・基本の定着の段階に課題がみられることが分かりました。基礎・基本の定着のためには、授業の充実はもちろん、家庭学習も非常に重要です。現在、学校では子供たちが自ら進んで家庭学習に取り組むためにはどうすればよいか検討しています。保護者の皆様からも、保護者懇談会などの機会に建設的な意見をいただければありがたいと思います。

家庭学習を支える4つのポイント

～おうちの方はお子さんの最大のサポーターです～

1 生活のリズムを整える

- 早寝, 早起きを心がけましょう。
- 朝食をきちんと, とらせましょう。
- テレビやゲームの時間を決めさせましょう。

3 学ぶ雰囲気をつくる

- お子さんの話をしっかりと聞きましょう。
- ニュースなど社会への関心を広げましょう。
- 家族で読書をする時間をつくりましょう。

2 学習の計画を立てる

- 具体的なめあて(時間・内容)を立てさせましょう。
- 学習時間になったら机に向かってるか見届けましょう。
- 実行できるよう見守りましょう。

4 努力を認め励ます

- ひとつのことを継続して取り組ませましょう。
- 難しいことでもやり遂げる喜びを体験させましょう。
- ノートなどを見て努力点をほめやる気を引き出しましょう。